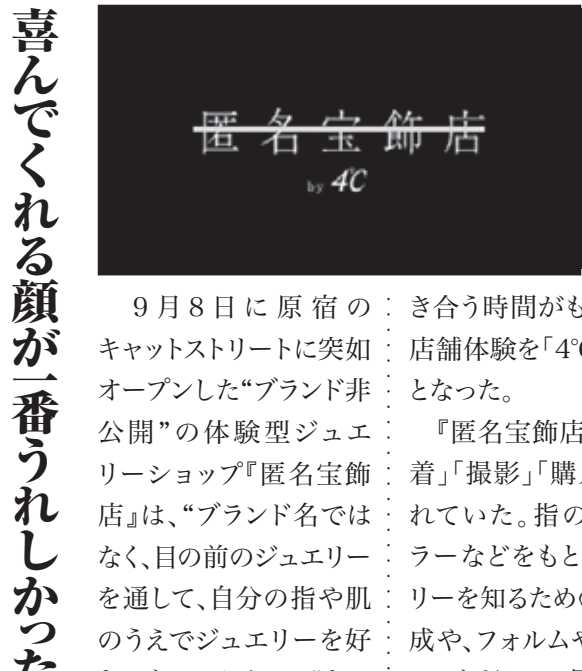


喜んでくれる顔が一番うれしかった



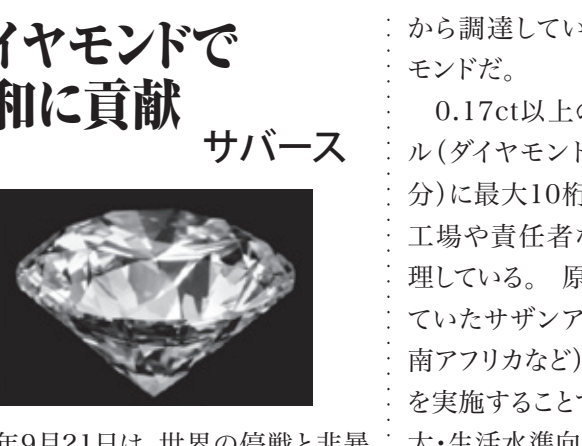
匿名宝飾店 4C

9月8日に原宿のキャットストリートに突如オープンした「ブランド非公開」の体験型ジュエリーショップ「匿名宝飾店」は、「ブランド名ではなく、目の前のジュエリーを通して、自分の指や肌のおかげでジュエリーを好きになってほしい。」とい

うコンセプトのもと、ブランドの看板を排除することで、ジュエリーショップにありがちな気疲れや緊張感を開放し、ジュエリーと向き合う時間も楽しくなる、新しい店舗体験を「4C」が提供する初の試みとなった。『匿名宝飾店』は、店内が「展示」「試着」「撮影」「購入」などのエリアに分かれています。指のサイズ、パーソナルカラーなどをもとに自分に似合うジュエリーを知るためのジュエリーカルテの作成や、フォルムや着け心地、ジェンダレスなど8つの展示カテゴリから自由

から調達しているのがサバースダイヤモンドだ。0.17ct以上のダイヤモンドのガードル(ダイヤモンドの外周の一番長い部分)に最大10桁の番号を刻印し、研磨工場や責任者などの履歴を厳密に管理している。原石の採掘だけに限られていたサザンアフリカ地域(ボツワナ・南アフリカなど)における現地での研磨を実施することで、サバースは雇用の拡大・生活水準向上に貢献している。宝石品質のダイヤモンド原石産出量が世界第二位のサザンアフリカのボツワナ共和国では、国家歳入は、半分以上がダイヤモンド産業からもたらされている。つまり、消費者がサバースのジュエリーを購入することで、間接的に人々の生活向上、子どもたちの教育と福祉に寄与することになるのだ。サバースは、これからもプロヴェナンス(来歴)やトレーサビリティ(生産履歴)を明らかにしたクリーンなダイヤモンドジュエリーを顧客に届け、エシカルブランドとして、世界の平和に貢献していく。

ダイヤモンドで平和に貢献



毎年9月21日は、世界の停戦と非暴力の日として、すべての国と人々に、この日一日は敵対行為を停止するよう働きかける「国際平和デー」だ。サバースは、サザンアフリカのダイヤモンド原石を使用し、戦争資金の元となる違法ダイヤモンドを排除するための国際認証制度「キンバリープロセス」に則った採掘や原石取引を行っている。ブランド創立の2006年より、サザンアフリカ産のダイヤモンド原石からのプロヴェナンス(来歴)やトレーサビリティ(生産履歴)を可能にし、選り抜かれた原石を、信頼できるサプライヤー

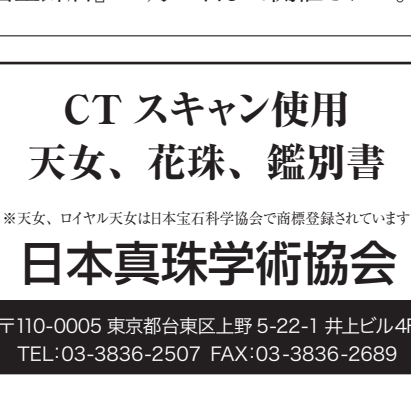
手に取りジュエリーの試着体験、そして、ビュッフェ形式でたくさんのジュエリーの中から好きなものを選んで撮影ができるフォトブースなど、さまざまなコンテンツを体験できた。また、一部商品はその場で購入することもできた。オープン以降も、「ブランド非公開」のままであったにもかかわらず、多くの人が来店し、顧客それぞれが自分に似合うジュエリーを「デザインと品質」で選択しながら買い物を楽しんだ。また、正体を明かした20日以降の来場者向けのアンケートでは「正体が意外すぎた」、「良いイメージが変わった」、「匿名であることで初めて手に取ることができた」といった、デザインから選ぶ体験を通じた新しいジュエリーとの出会い

日本の職人展を国慶節に合わせ 大丸福岡天神店で第1回目を開催

革新的な技を生み出す50もの職人やメーカーを人が来日する時 脚光浴びる日本の伝統工芸 月27日～10月2日の6日間に開催。中でも目玉は、実際に間近で職人の作業工程が見られる24箇所にも及ぶブースを展開し、ライブ感あふれる体験型催事である点だ。ロボットアクセサリ(22,000円)、手づくり腕時計(88,000円)、屋久杉テーブル(770,000円)、船草薺硯硯(1,485,000円)など、国内はじめ日本国外からも注目を集める。昨今、伝統的な技術の継承にも人々の関心が高まっている。同展は、暮らしを彩る日本の伝統と

MAKIでは結婚指輪の手作り方法として「ワックス製作」と「彫金製作」を選べる。「ワックス製作」ではワックス原形を作り、鋳造によって結婚指輪に仕上げるので色々な形を作ることができる。ただし、指輪の内側をきれいな多角形に成型するのはワックス製作ではできない。そのため、四角形・六角形の指輪は「彫金製作」でしか作れない形となっている。MAKIで作れる六角形の指輪の特徴として角の丸め具合の調節が可能だ。好みに応じてシャープな六角形にしたり、丸みのある六角形にすることができる。通常のリングゲージでは丸い指輪のサイズしか測れないが、特殊なシステムを採用することにより四角形・六角形の指輪

CT スキャン使用 天女、花珠、鑑別書



日本真珠学術協会 〒110-0005 東京都台東区上野 5-22-1 井上ビル4F TEL:03-3836-2507 FAX:03-3836-2689

でも正確にサイズを計測することを可能にしている。そのため、しばらく指輪を着けて様子を見る必要がなく、希望のサイズの指輪を作ることができ、完成した当日に持ち帰ることが可能だそう。ダイヤモンドの埋め込みなどオプション加工が必要な場合は約2週間預かり、自宅まで送る。

金属の種類はPT950(ハードプラチナ)、K18YG(イエローゴールド)、K18PG(ピンクゴールド)の3種類から選べる。金属を曲げて作るためストレート型のみ製作可能でS字型・V字型などは作れないが、指輪本体の形は丸、四角、六角が選べ、指輪の幅は1.5mm、2.0mm、2.5mmの3種類。現在、先行して大阪工房でのみ手作りが可能で、徳島店では準備が整い次第予約を開始する。ジュエリークラフトMAKIは、徳島の(株)MAKI時計店が運営している結婚指輪、婚約指輪などのブライダル製品を専門にオーダーメイド、顧客の手作りの注文を受ける工房。コンセプトはシンプルながら他では見ない特徴を持たせ、世界で二人だけの結婚指輪に仕上げること。2000年の徳島本店の創業当初からオリジナル結婚指輪の企画開発などを手掛け、拘りの結婚指輪を希望するカップルに好評を博してきた。2014年には大阪府大阪市に結婚指輪手作り専門の工房をオープンし、顧客自身で結婚指輪を手作りできる工房として予約、注文を受けている。

港には仏領側出口があつて不思議な気がする。十七世紀のフランスは傍流のアンリ四世がブルボン朝の始祖で、その後ルイ十三世、太陽王ルイ十四世と続き、繁栄の道を突き進む。この世紀の半ばまで携帯用の時計は宝飾品とみなされ、ジュネーブでは宝飾職人の地位は時計職人より高かった。時計を身につけることはごく限られた特権階級のみが許されていた。美しい宝飾品とみなされてきたからである。時を刻むと、現実の役に大いに立つことが認識されてきて、所持者も貴族からブルジョア階級から裕福な農民にも拡がり始めた。時計製造業はもの作りの中で、宝飾業に取って代わって、ジュネーブの中で「時計の都」となっていく。十七、十八世紀の時計製造業は、最初は単純だった業界内の規約も多様化して行く。一六五〇年に、ダイヤモンド・カッターとその他の宝石のカッターのギルドが合併されたが、以来、宝飾ギルドに関する法令が、一六八一年、一六八八年、一七三三年と改訂される。時計製造業に關して一六〇〇年の規約改訂に始まり、一六五八年、一六七三年、一六九〇年、一七〇六年、一七三三年、一七四五年、一七五五年と次々と規約が変わる。この間に、時計製造業界内でも二つのギルドが新設された。一六九八年のケース組立業で、規約を一七〇一年、一七二九年、一七五八年と変えている。もう一つの彫り師の

真珠の全分野を網羅 書籍 & DVD 「真珠事典」 定価2300円(税別) 「ニッポンの真珠がいちばん美しい」 定価1480円(税別) 「真珠の新しいトマナー」 定価1800円(税別) DVD「真珠の余韻」 定価2000円(税別) 真珠科学研究所 〒110-0016 東京都台東区台東3-16-5ミハマビル TEL 03(3834)7050

宝石の鑑定・鑑別 DGL DIAMOND GRADING LABORATORY 真珠もグレードアップ 東京 TEL.03(3832)2432 FAX.03(3832)2439 大阪 TEL.06(253)1436 FAX.06(253)1430 名古屋 TEL.052(732)0580 FAX.052(732)0622 福岡 TEL.092(414)6065 FAX.092(413)7717

MALCA-AMIT 貴重品の国際輸送 香港展示会対応 18-22/9/23 AsiaWorld-Expo・Hong Kong 20-24/9/23 Hong Kong Convention and Exhibition Centre お問い合わせ 03-5818-6700 | Sales.TYO@malca-amit.com www.malca-amit.com

宝飾のプロが正確でスピーディーな査定 通常金利1% 業界最安 利息 ¥0 1ヶ月間 2回目以降、利息月1%、ご融資100万円以上。 谷口宝飾グループ 質 セブンプラスワン お気軽にご相談下さい。 営業時間 ◆月～金10時～18時 03-3835-0888 東京都台東区台東3-12-8 東京都公安委員会 質屋営業許可番号 第306609803009号

「ジュネーブの時計製造」 8 小谷年司

日本で徳川幕府が確立され、国家統一が安定したように、西欧の十七世紀は、宗教戦争が沈静化し、各国で王権が強く、国内事情は治りつつあった。隣国でジュネーブが独立を守るために常にその鼻息をうかがわねばならなかったフランスではアンリ四世が王位につき、新教徒から政情安定のためにカトリックに改宗し、その代わり新教徒を認める政策をとった。英語ではプロテスタントと云うが、フランス語ではユグノーと言ふ。「同盟する人」が原義である。特にカールヴァンに率いられたジュネーブの新教徒を指す。多くのユグノーが諸国からジュネーブに亡命し、その結束力は固く、独立を維持することができた。皮肉にもジュネーブを侵略併合したのは宗教とは関係ないナポレオンだ。主権を回復したのはナポレオン没落後に、スイス連邦に加盟することによってであった。フランスの影響は強く、日本人が現在旅行しても、ジュネーブ中央駅のプラットホームに仏領側があるし、空

ギルドは一七二六年創設で、一七三三年にはっきりとした身分規定を定めている。これらの法令、定款、規約を分析、検討してもあまり意味はなさそうだが、底流の特色、その意図や進化を心に留めおく必要はある。ラウ・アブリック(時計製造)の歴史で際立った特色は分業化の急加速である。時計に含まれる多くの部品、異なる種々の歯車、多くに彫りが加えられ、装飾がつけられ、宝石や真珠が埋められるケース。そこを考えると当然と言えよう。だが初期は二人の親方が全部を作っていた。十七世紀に入ると需要が増え、市場は拡大し、各部門の専門職が必要となっていく。一六六〇年にはゼンマイ作りが専門化されつつあった。女性の職人が出現したのもその頃である。まずは時計の下げ鎖作り。次には、ケースや機械の磨きのように、腕の立男の職人の嫌がる単純な作業。十七世紀の終りには、時計のガラス蓋や巻き鍵の専門職も出てくる。時計をその上に組み立てる基盤は「ブリュシユ」と言ふ。部品の配置場所を彫り込んだだけのものは、エポキシ樹脂の山や谷にふさふさしくないとされ、郊外の村や仏領のジュネーブ職人に託されるようになり、自分たちは

もつと難しく、高収入を得られる仕事を選ぶようになる。十七世紀ではまだエマーユ七宝画がジュネーブの特産物として遠国まで名が轟いていた。中国や日本の七宝とは異なっており、色と色の間に銀や銅の線を立てず、普通の絵のように描いて焼き上げる難い技法である。元々、フランスの絵画のように異なった技法だが、ジュネーブで完成したと言えよう。細密画だから余計に難しい。一六五〇年頃までは「ピエール・ボルドイエ」と弟子のジャン・ブチットの名が知られ、のちには弟子の技量が師匠を追い越している。一六八六年にはドイツの選帝侯フレデリック・ウィルヘルム二世が、エマーユ細密画の大家、ユオ兄弟をベルリンの宮廷に召しよせ、二方ブチットは、英国とフランスの宮廷で長く働いた後に、同時期にジュネーブへ戻っている。ルイ十四世から、年金を与えられ、ルヴル宮にも部屋をもらっていたが、王が「ナントの勅令」を廃止しユグノーを再弾圧すると、監獄に放り込まれている。時代は下つて、J・A・アローロは、幼いルイ十五世の叔父の子のオルファン公が攝政の座にあつて権勢をふるった時(一七五〇～一七五三年)その庇護を受けていた。一七四九年生まれの時ジャック・トゥーロンは動き盛りの三十八歳で死亡したが、ナポレオン没落後王位におさまるルイ十八世から王家御用達の称号をもらっていた。リオトルはバステル画家として名を得る前はエ

マユの細密画家だった。十九世紀になつてもエマーユ七宝の伝統は絶えることなく、配所の月の身分から復活したルイ十八世の宮廷で活躍するアラム・コンスタンタンによってまた花開くことになる。何故こんなあまり人に知られていない、エマーユ七宝のミニチュア画家を列挙したかと言ふ理由がある。現代ではこれらの人々と同じようにエマーユ絵を描ける人はほほいなくなつたという現実である。画面は肖像画は勿論のこと、風景、歴史、神話から始めて、ポルノ風まで小さいだけで普通の絵画と変わらない。ジュネーブの時計博物館といえは、パテック・フィリップ社が所有するものがあるが、もう一つある。昔の風情ある一階建てのこじんまりとした建物が庭の緑に囲まれ、旧市街の足元にある。個人の屋敷を転用した公営の博物館だが、名称は「時計とエマーユ七宝の博物館」となっている。初めは単に併列した展示かと思われ、みだ後はエマーユとジュネーブの時計と切つても切れない結びつきをすることを教育するためだといふことが解ってくる。エマーユ技術の展示をみると、この絵画技術に熟達するの